

北の丸大妖怪展

秋

EdoTokyo
Autumn 2026

私たちは、Edo Tokyo
キャンペーンと連携して、
江戸文化の魅力を発信
しています

令和8年度
第2回企画展

遊ふもののけ

妖怪と幻獣の江戸時代

東京文化財ウィーク2026 参加企画展

令和8年10月16日(金)～12月6日(日)

※土日祝開館、月曜休館(11月23日(月・祝)及び11月30日(月)は開館、11月24日(火)は休館)

会場 国立公文書館東京本館
1階展示ホール

開催時間 午前9時15分～午後5時

協力 (一社)千代田区観光協会

同じ北の丸公園にある科学技術館でも「妖怪」をテーマにした
展示を同時開催します。是非お立ち寄りください。



国立公文書館



科学技術館

各種SNSでも
情報発信中

入場無料・予約不要

記録を守る、未来に活かす。



独立行政法人

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3-2
TEL: 03-3214-0621

遊ふもののけ

令和8年度第2回企画展

— 妖怪と幻獣の江戸時代 —

不思議な現象、奇妙なモノたち。

古来より日本社会にとって怪異とは、凶事を予言する脅威でした。しかし、江戸時代に入ると怪異はより無害な「もののけ」へと変化しました。人々は日常の不思議をもののけとして楽しみ、書籍や記録に残しました。

本展では、現実と幻想の間に遊ぶ、江戸時代のもののけ達をご紹介します。



にっとうほんぞう ずさん 日東本草図纂

18世紀中頃に成立した本草書です。本草書とは、主に薬になる動植物などについてまとめた本のことです。本草学では、もののけも研究の対象でした。



* 資料保存のため、会期中、展示替えを行います。

がいだんぶんぶんしゅうよう 街談文々集要

文化・文政年間(1804-1830)の街談(世間の噂話)をまとめた随筆です。猫のたたりや怪魚など、さまざまなもののけ達が登場しています。



* 資料保存のため、会期中、展示替えを行います。

展示替えを実施します

一部の展示資料について、場面替えを5回実施します。展示替えのたびに新しい「もののけ」が登場。お楽しみに！

展示解説会を開催します

日時: 10/22(木)、10/30(金)、11/18(水)
各回ともに午後2時開始、事前申込制

常設展示室で憲法の原本を特別に展示します

10/31(土)~11/3(火) 日本国憲法

※詳細は国立公文書館HPをご覧ください。➡



科学技術館×国立公文書館 「北の丸大妖怪展」開催!

北の丸公園にある科学技術館でも「妖怪」をテーマにした展示を同時開催します。両館ではじめてのコラボ企画「北の丸大妖怪展」には是非お立ち寄りください。

科学技術館パネル企画展 「百鬼騒乱 ~災いと妖怪伝承~」

10月16日(金)~12月6日(日)
※10月の水曜日と11月4日・11日(水) 休館

科学技術館HP ➡
<https://www.jsf.or.jp/>



〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3-2
TEL: 03-3214-0621
アクセス ▶ 東京メトロ東西線竹橋駅下車 [1b出口] 徒歩5分